

国鉄「分割・民営化」阻止／三里塚二期着工粉碎！

8月4日～6日 反戦反核広島行動に参加して

〈寄稿・動労千葉本部・S生〉

♡♡♡♡

被爆40周年を迎えた広島の地で、8月4日から3日間「原水禁広島大会」及び、三里塚闘争を先頭で闘う反戦被爆者の会代表の、小西のぶ子さんらが呼びかける「8・6広島反戦全国大会」が開催され、動労千葉の代表として二名が参加し、共に闘いぬいてきました。

♡♡♡♡

「中曾根との対決」が

欠落した既成の運動

被爆40周年をむかえた今、レーガン・中曾根による世界戦争の危機が現実には直面しています。そういう状況のなかで行われた8・6広島行動は、重要な位置にあったと言えます。

しかし、「原水禁」の集会等では、残念ながら戦争への道を突き進む大反動と対決する明確な方針は、何一つだされないうまま「戦争の被害者たちを励まし手をつなぎ、核戦争反対の声をあげよう。日本の完全な非核化をめざす運動を拡げよう」これが一切の結論でした。

中曾根は、昨年、被爆者を前にして「病は気から」と発言し、原爆症の苦しみは、まるで被爆者側に問題があるかのように絶対に許すことのできない、とんでもないことを主張したのにもかかわらず、今回ぬけぬけと来広した狙いは、被爆者英霊・軍都広島復活・8月15日の靖国公式参拝をもねらっており、戦争国家づくりのため以外の何ものでもありません。こともあろうに、この憎むべき戦争屋、軍拡・侵略戦争体制づくりの張本人と祈念式典と一緒にこなう既成原水禁運動の裏切りと屈服に、地元の被爆者・被爆二世の人たちをはじめ、全国から結集した多くの人たちが怒りにもえました。

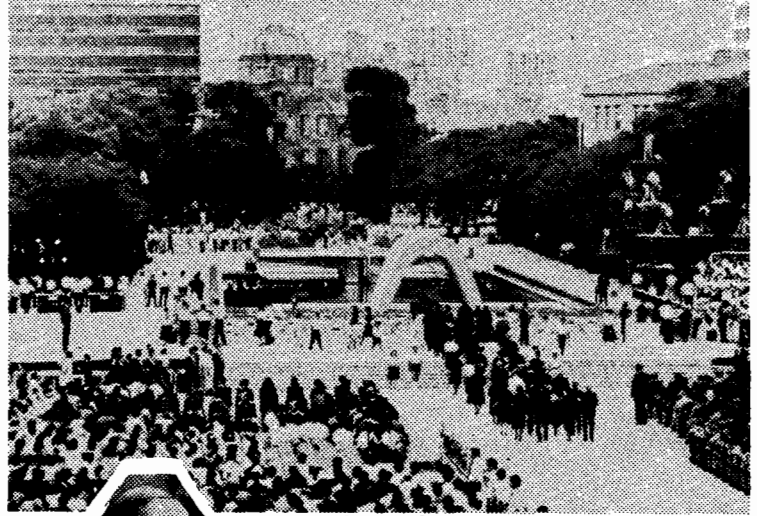
感銘をうけた「8・6広島反戦集会」

一方、小西さんらが呼びかけた反戦・反安保・反核・中曾根打倒をスローガンとした「8・6広島反戦集会」は、午後5時から広島労働会館において、会場あふれんばかりの多くの参加により開催されました。

集会では、小西のぶ子さん、大槻泰生さんをはじめとする反戦被爆者の会の人たちが「軍大化・核軍拡の戦争挑発がますます強まるなか、二度と

計 報

かねてより病氣加療中でありました新小岩支部元執行委員・高原進氏（四九歳）は、薬石の効なく八月十八日午前一時頃永眠されました。動労千葉は、生前の高原氏の功績をたたえるところに、つつしんで哀悼の意を表します。



▲ 被爆40周年、ノーモア・ヒロシマの願いをこめて平和祈念式典。（8月6日、広島平和記念公園）
▲ 靖国公式参拝、GNP比1%突破を狙い、「戦後の総決算」=戦争体制づくりをひた走る中曾根は、反戦・反核のヒロシマを軍靴でふみにじっている。断じて許せない！



戦争をおこさせないために身を投げうってでも阻止して闘いぬく」との力強い発言がなされ、また北富士忍草母の会をはじめ、杉並、関西、沖縄、佐世保、日本原、荒本など闘う各住民団体の代表の方からあいさつがなされ、「今こそ全人民の實力決起で三里塚二期着工阻止、戦争政治の反動・中曾根打倒を」とそろって同じ発言がだされ闘いの路線が確認されました。

反対同盟からは、北原事務局長、婦人行動隊長の郡司とめさん、同じく婦人行動隊の島村初枝さんらが参加し「国家権力の暴力で圧政を欲しいままにせんとする中曾根に、われわれ三里塚農民を先頭とした労働者・人民の正義の力を叩きつけてやろう」とあいさつがなされ、原水禁運動をのりこえた闘う姿があり、今さらながら三里塚闘争の重要性と実力闘争の必要性を反戦被爆者の会、反対同盟をはじめとする三里塚を闘う人々から再度教えられました。

「国鉄」「三里塚」で

中曾根を打倒しよう

この広島行動での教訓を生かし、国鉄労働運動の解体を通して戦争への道へと動員しようとする反動・中曾根と真向から対決し、国鉄「分割・民営化」攻撃を絶対に許さず、この攻撃を粉碎するために三里塚二期決戦に実力で決起し、9・16、10・20三里塚現地闘争にむけ最先頭で闘っていきたいと思います。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！